

政策	6章 政策3	総合計画・総合戦略を効果的に実施する	
主管課	行政経営課	関係課	

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
・ 総合計画、総合戦略で定める各政策 ・ 職員	総合計画や総合戦略の進み具合を、PDCAサイクル（Plan：計画、Do：実行、Check：評価、Action：改善）の仕組みにより定期的に確認し、継続的に改善していくことにより、総合計画や総合戦略を効果的に実施します。 外部有識者による検証作業を含めたPDCAサイクルの構築と、PDCAを行うための組織づくりおよび人材育成を行います。また、これらの推進にむけた仕組みが適切に機能しているかを定期的にチェックするための体制づくりや、成果の見える化を行います。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	政策数	政策		見込値					25	25	25	25
				実績値	-	-	-	25	25	25	25	
②	施策数	施策		見込値					68	68	68	68
				実績値	-	-	-	68	68	68	68	
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	とりまとめ担当課による関係者会議 (政策単位) の回数	回/年	目標値					10	10	10	10
				見込値					25	25	25	25
				実績値	-	-	-	-	25	25	0	
B	総合計画	外部有識者等による検証作業の回数	回/年	目標値					1	1	1	1
				見込値					2	2	3	1
				実績値	-	-	-	-	1	0	0	
C	総合計画	計画の進捗状況の確認回数	回/年	目標値					1	1	1	1
				見込値					1	1	1	1
				実績値	1回/5年	-	-	-	1	1	1	
D	総合戦略	15～39歳の転入超過人数（累計）	人	目標値					200	300	400	500
				見込値					-157	-5	-17	-29
				実績値	-	-	-	-176	7	-43		
E	総合戦略	糸満市を住みよいと感じている市民 の割合	%	目標値					82	83	84	85
				見込値					81	82	80	80
				実績値	-	80.3	-	-	79.9	76.4	-	
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト		事業費	千円					4,887	8,171	2,239	0	0
		国・県支出金	千円					0	0	0		
		地方債	千円					0	0	0		
		その他	千円					0	5,113	0		
		一般財源	千円					4,887	3,058	2,239		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	とりまとめ担当課による関係者会議（政策単位）の回数
	設定理由	総合計画・総合戦略に基づく政策の効果的な実施に向け、庁内連携が必要となることから、各政策単位の関係者会議の開催回数を指標設定する。（行政経営課資料）
	目標値	総合計画で定める政策分野が25あり、毎年度効果検証を行う。
	見込値	令和4年度から、総合計画で定める25の政策の効果検証を毎年度行う。
B	総合計画	外部有識者等による検証作業の回数
	設定理由	総合計画・総合戦略の効果的な実施に当たっては、庁内のみならず外部有識者による検証も有効と考えられることから、その検証作業の実施回数を指標設定する。（行政経営課資料）
	目標値	外部有識者による検証作業を毎年度1回行う。
	見込値	令和4年度から令和6年度の3年間で25政策の効果検証を行う。また、令和6年度で前期計画の総括を行い、令和7年度に後期計画の策定を行うという進め方に基づき、年2～3回の回数を見込む。
C	総合計画	計画の進捗状況の確認回数
	設定理由	総合計画・総合戦略の進捗状況について、総合計画の策定所管課において、毎年度進捗状況を確認するための指標を設定する。（行政経営課資料）
	目標値	課長層（とりまとめ課）が参加する会議で各政策分野の進捗状況（効果検証結果）を取りまとめ、幹部層へ説明並びに外部有識者で構成する推進会議に報告を行うことを予定している。
	見込値	同上
D	総合戦略	15～39歳の転入超過人数（累計）
	設定理由	全ての政策に関係する指標として、「15～39歳の転入超過人数(累計)」の把握を行う。（行政経営課資料）
	目標値	毎年転入超過人数を100人を目標とし、令和7年度までの累計として500人を目指す。
	見込値	平成30年度から令和4年度の5か年間の平均値(△12)を、令和4年度の実績値に毎年度加算した数値を見込値とする。
E	総合戦略	糸満市を住みよいと感じている市民の割合
	設定理由	全ての政策に関係する指標として、「糸満市を住みよいと感じている市民の割合」の把握を行う。（行政経営課資料）
	目標値	毎年度1～2％の増加を見込む。
	見込値	令和4年度、令和5年度の実績値を鑑み、現在の想定では目標達成が困難と見込むものの、総合計画・総合戦略の施策を推進することをもって指標の向上を図る。
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

・令和7年度に第5次総合計画後期基本計画と次期総合戦略の策定の他、人口ビジョンの時点修正に取り組む。  
・国が令和7年夏に取りまとめる「地方創生2.0」の基本構想を勘案し、次期総合戦略を策定する必要がある。  
・本市でもすでに人口減少が始まっているとも考えられ、真栄里地区で進めるプロジェクトをはじめ、各種政策（施策）をもって目標人口の達成にむけて取り組む必要がある。

(6) 関係者の意見・要望

・市職員から、総合計画・総合戦略が業務とどのように関係しているか判然としないとの意見がある。  
・市民意識調査の結果から、当該調査結果がどのように活用されているのか情報公開してほしいとの要望がある。

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標A	総合計画	【とりまとめ担当課による関係者会議（政策単位）の回数】					
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	令和7年度は、前期基本計画の総括と後期基本計画の策定に同時に着手する年度となっており、とりまとめ担当課による関係者会議（政策単位）を開催する予定であることから、もって目標達成を見込む。						
指標B	総合計画	【外部有識者等による検証作業の回数】					
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	令和7年度は、前期基本計画の総括と後期基本計画の策定に同時に着手する年度となっており、外部有識者等による検証作業は行う予定であることから、もって目標達成を見込む。						
指標C	総合計画	【計画の進捗状況の確認回数】					
		<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	令和7年度は、前期基本計画の総括と後期基本計画の策定に同時に着手する年度となっており、計画の進捗状況の確認は行う予定であることから、もって目標達成を見込む。						
指標D	総合戦略	【15～39歳の転入超過人数（累計）】					
		<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	・令和4年度の実績値が7人、令和5年度の実績値が－43人となっているなど、現時点において目標達成は困難と見込む。 ・特定の政策（施策）でもって目標達成は困難であると考えことから、各政策分野において、15～39歳の転入超過人数を増加させるために必要な政策（施策）の調査・検討が必要。						
指標E	総合戦略	【糸満市を住みよいと感じている市民の割合】					
		<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由	令和4年度、令和5年度の実績値を鑑み、現在の想定では目標達成が困難と見込むものの、総合計画・総合戦略の施策を推進することをもって指標の向上を図る。						
指標F		【					
		<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由							
指標G		【					
		<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由							
指標H		【					
		<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み） <input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり <input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難					
理由							
指標の数	5指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	3指標 (60.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	0指標 (0.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	2指標 (40.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	「15～39歳の転入超過人数(累計)」の指標の結果が悪化したものの、政策全体としてはほとんど変わらないと考える。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてどちらかと言えば高い（良い）水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	・「15～39歳の転入超過人数（累計）」の指標の結果が悪化したものの、他市も同様の水準にあると考える。 ・本市の他、那覇市やうるま市で毎年度総合計画の進行管理を行っているが、以外の市は計画改定時期のみの進行管理となっている。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

・令和6年度も総合計画・総合戦略のPDCAを推進している。  
・15歳から39歳は転出超過となっている。日本人の転出超過は206人、外国人の転入超過は163人となっており、外国人の転入によって指標の人口の減少幅が縮まっている。

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

・15歳から39歳を転入超過へと転じさせるため、真栄里地区で進行する土地区画整理事業以外での効果的な政策（施策）が特定できていない。  
・15歳から39歳を転入超過へと転じさせるためには、行政以外の関係機関や市民といったオール糸満での危機意識の共有が必要。  
・総合計画・総合戦略の進行管理は必要であるものの、係る事務負担の軽減も併せて必要。

(3) 令和7年度取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

・令和6年度から令和7年度に掛けて、第5次総合計画後期基本計画と次期総合戦略の策定の他、人口ビジョンの時点修正に取り組む。この過程において、種々の課題解決に向けた政策（施策）を検討する。